

令和 6 年度 第 4 回 全国健康保険協会千葉支部評議会概要報告（速報）

開催日	令和 7 年 3 月 7 日（金） 10：00 ～ 11：30
開催場所	日本生命千葉駅前ビル 4 階 千葉支部会議室
出席者	尾関評議員、椎名評議員、新谷評議員、中曽根評議員、 長根評議員、中野評議員、山口評議員、山本評議員（五十音順）
議題	1. 令和 7 年度千葉支部行動計画及び広報計画等について【報告事項】 2. その他報告について【報告事項】
議事概要（主な意見等）	
事務局より、各議題について説明を行った。 各評議員からのご意見等は以下の通りである。 1. 令和 7 年度千葉支部行動計画及び広報計画等について【報告事項】 【被保険者代表】 行動計画について、資料に記載のある全ての計画に取り組む必要があることは理解しているが、その中でも千葉支部として特に重点的に取り組むことを示すべきではないか。例えば、「令和 7 年度は最重点事項として、保険料率の引下げに向けて、インセンティブ制度の指標となる健診の受診率を向上するための取組を強化する」というようにメリハリをつけた事業実施が大事である。また、組織運営にあたっては職員がやる気になる仕組みづくりも重要である。 【事務局】 貴重な意見として承る。今後の事業実施及び組織運営にあたり参考にさせていただく。 【被保険者代表】 広報について、千葉支部加入の全事業所約 10 万社とメールでやり取りすることが可能となれば、少ない経費で効率的な広報が可能になると思うので検討してほしい。また、支部で作成している各種広報媒体の内容も毎年度同じようなつくりのため、加入者も見慣れてしまう。効果的な広報の作成を工夫してほしい。 【事務局】 協会けんぽが扱っているデータは非常にセンシティブなものであり、様々な外部攻撃へ十分に備える必要があることから、全事業所とメールで繋がることは難しいと考える。一方で、DX の推進は進めているところであり、しっかりセキュリティ対策を講じながら、加入者がアクセスしやすい環境を作っていきたい。例としては、現在、本部主導で協会けんぽのアプリを作成しており、アプリで給付金の申請や健診の予約ができるよう構想を練っているところである。将来的にはアプリで広報を発信するといった取組も検討しながら、協会けんぽの認知度の向上にも努めていきたい。また、広報作成については、千葉支部が伝えたいことは何かを丁寧にわかりやすく説明できるように心がけていきたい。	

【被保険者代表】

広報活動は遊び心も大切。例えばマスコットキャラクターとして「いっぽくん」のぬいぐるみを作成し、支部窓口への設置や子供向けの広報に活用するなど、様々なアイデアを出して実施した方がよい。そのほか、県内の過疎地域では有線放送も有力な広報であると考えられるため実施も検討すべきである。アナログな手法ではあるが、地方にいる加入者と協会けんぽが接する機会も忘れないでほしい。

【学識経験者】

ジェネリック医薬品の使用促進については、処方箋を出す医師がジェネリック医薬品を推奨するかどうかが一番重要。次点として、薬局で薬剤師が患者に対してジェネリック医薬品についてどのように説明するかも重要であると考えている。ジェネリック医薬品と先発医薬品との費用差を説明する際は、処方する薬剤あたりの差額ではなく、それが1か月や1年など、長期でどれだけ差額が発生するのかを説明するなど工夫が必要である。千葉支部としても、そのような工夫ができるように働きかけていただきたい。

【事務局】

ジェネリック医薬品の使用促進における取組については、次年度は新たな取組として地域フォーミュラリーの策定に向けてレセプトデータ分析等を行う。その結果を県の医師会や関係団体と連携したいと考えているため、併せて働きかけを行っていききたい。また、県内の約 2,300 か所の薬局にジェネリック医薬品の使用状況のお知らせを年に一度送付しているが、今後は患者への働きかけについても県の薬剤師会と連携して行っていききたい。

【学識経験者】

現在作成しているけんぽアプリについて、いずれそのアプリを汎用的に活用できるようになった際は、例えば健診を予約した際やウォーキングの実施でポイントが付与されるなど、他の自治体で行っているようなインセンティブ付けも検討していただきたい。

【事務局】

加入者がより健康づくりに取り組めるような仕組みの導入について、本部にも要望して参りたい。

2. その他報告について【報告事項】

特に意見なし。

特記事項

・ 次回は令和 7 年 7 月に開催予定。